

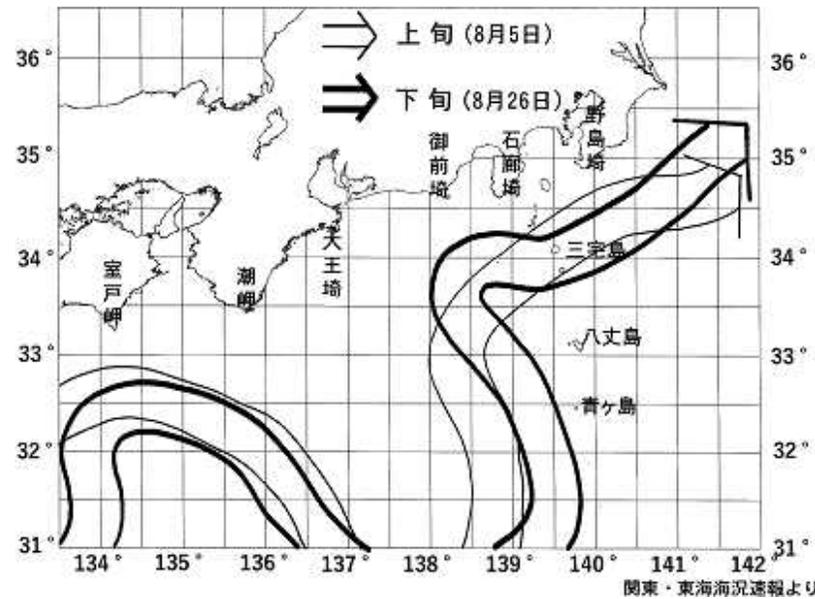
# 漁海況月報

令和6年8月1日

No. 8 ~8月31日

静岡県水産・海洋技術研究所  
(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



8月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値\*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	27.2	27.3	27.2	28.2	28.3	28.9
	2.3	3.1	3.1	2.5	2.3	3.1
中旬	27.4	27.5	26.5	29.3	29.5	30.0
	1.9	2.6	1.8	3.2	3.3	3.8
下旬	27.4	26.8	26.8	28.6	28.5	27.4
	1.8	1.6	1.8	2.5	2.3	1.1
月	27.4	27.2	26.8	28.7	28.7	28.6
	2.0	2.4	2.3	2.7	2.6	2.5

\*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)の平均値

## 【黒潮流路】

8月を通じてA型で、遠州灘沖で大きく離岸した後、上旬は三宅島付近まで、中旬~下旬は駿河湾沖まで北上する流路となった。

上旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.5°N付近から三宅島付近34.0°Nまで北上した後北東に進み、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島西水道に向けて見られた。

中旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.5°N付近から駿河湾付近34.0°Nまで北上した後東進し、伊豆大島~三宅島間を通過して北東に流去した。暖水波及が駿河湾沖の黒潮北縁から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から駿河湾、大島西水道に向けて見られた。

下旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖31.0°N付近から駿河湾沖34.0°Nまで北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が駿河湾沖の黒潮北縁から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から駿河湾、大島西水道に向けて見られた。

## 【沿岸域水温】

上旬は伊東、沼津で「高め」、稲取、下田、雲見、焼津で「極めて高め」であった。中旬は伊東、下田で「高め」、稲取、雲見、沼津、焼津で「極めて高め」であった。下旬は焼津で「やや高め」、伊東、稲取、下田、沼津で「高め」、雲見で「極めて高め」であった。

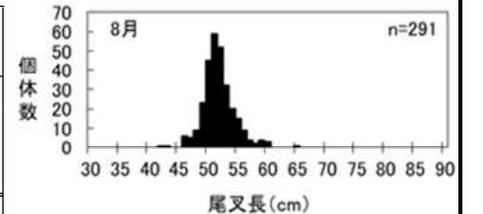
## 【竿釣カツオ】

8月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは59.7トンで前年同月(95.3トン)の63%であった。平均単価は415円/kgで前年同月(422円/kg)を上回った。

漁場は33-34°N、138-139°Eの伊豆諸島北部海域などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は中(尾叉長51cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R6年8月上旬	26.3	14	1.9	360
中旬	5.0	3	1.7	1,126
下旬	28.4	8	3.6	340
R6年8月計	59.7	25	2.4	415
R5年8月計	95.3	32	3.0	422
R4年8月計	28.3	12	2.4	737



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は290.3トンで、前年(339.3トン)の86%、平年(315.9トン)の92%であった。また、1か統当たりの水揚量は41.5トン(前年:48.5トン、平年:45.1トン)であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(80.4トン、マアジ、ヤマトカマス、マルソウダ)、次いで北川漁場(54.9トン、マアジ、ヤマトカマス、さば類)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、マアジは159.8トン、前年比2.3倍、平年比5.3倍で、昭和57年以降、最も多い水揚量であった。このうち、じんだ(小型当歳魚銘柄)は0.5トン、前年比2%、平年比3%であった。ヤマトカマスは42.2トン、前年比77%、平年比2.6倍であった。さば類は20.8トン、前年比28%、平年比15%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは0.5トン、前年比9%、平年比7%、ゴマサバは19.5トン、前年比32%、平年比15%、さばっこ(小型当歳魚銘柄)は0.8トン、前年比14%、平年比8%であった。マルソウダは12.1トンで、前年比2.3倍、平年比59%

であった。クサヤモロは7.1トン、前年比1.2倍、平年比3.5倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マアジでは古網漁場が31%(49.1トン)、北川漁場が21%(33.7トン)、赤沢漁場が15%(23.4トン)、ヤマトカマスでは古網漁場が32%(13.3トン)、北川漁場が23%(9.8トン)、赤沢漁場が15%(6.4トン)、さば類では川奈漁場が39%(8.2トン)、北川漁場が17%(3.5トン)、伊豆山漁場が16%(3.3トン)、マルソウダでは古網漁場が46%(5.6トン)、川奈漁場が31%(3.8トン)、クサヤモロでは赤沢漁場が43%(3.0トン)、北川漁場が34%(2.4トン)であった。

\*平年：昭和57年～令和5年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マアジ	159.8	2.25	5.26	古網、北川、赤沢
ヤマトカマス	42.2	0.77	2.61	古網、北川、赤沢
さば類	20.8	0.28	0.15	川奈、北川、伊豆山
マルソウダ	12.1	2.31	0.59	古網、川奈
クサヤモロ	7.1	1.21	3.48	赤沢、北川

**[サバたもすくい・棒受網]**

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は利島に形成された。水揚量はゴマサバ19トン(前年同月比70%)であり、1隻当たり水揚量は2.3トン(前年同月比43%)であった。マサバの水揚げはなかった。平均単価は、269円/kgで前月(211円)、前年同月(194円)とともに大きく上回った。漁獲物の体長組成は、33cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R6年8月上旬	-	14	5	5	-	2.9	-	243	利島
中旬	-	0	1	1	-	0.2	-	527	利島
下旬	-	4	2	2	-	2.0	-	347	利島
R6年8月計	-	19	8	8	-	2.3	-	269	利島
R5年8月計	-	27	5	5	-	5.4	-	194	御前崎沖、利島
R4年8月計	-	120	10	13	-	9.2	-	171	大島千波、ひょうたん瀬

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

\*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

**[シラス船曳網]**

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘(新居、舞阪、福田、御前崎)が72kg、駿河湾(吉田、用宗、由比)が58kgであった。平均水揚量は64kgで前年同月(174kg)の37%、平年同月(過去5か年平均:291kg)の22%であった。また、総水揚量は35.8トンで前年同月(210トン)の17%、平年同月(464トン)の8%で前年、平年同月を大きく下回った。平均単価は1,537円/kgで前年同月(1,463円/kg)の1.1倍、平年同月(982円/kg)の1.6倍で、前年同月を上回り、平年同月を大きく上回った。

7港のシラス水揚量

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	1.7	4	25	68	1,600
	舞阪	7.2	4	109	66	1,755
	福田	6.1	4	62	99	1,277
	御前崎	2.6	6	48	55	1,258
駿河湾	吉田	7.3	6	155	47	1,655
	用宗	10.7	11	148	73	1,517
	由比	0.1	2	9	13	1,514
R6年8月計	35.7	37	556	64	1,537	
R5年8月計	210.2	56	1,205	174	1,463	
R4年8月計	481.7	87	1,947	247	1,049	

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年：過去5か年(令和元年～令和5年)の平均値

**[まき網(いわし類)]**

マイワシの水揚量は、沼津港では3.0トン(前年同月比41.8%、平年同月比54.5%)、小川港では0.005トン(前年同月比0.1%、平年同月比0.005%)、伊東港では95.6トン(前年同月比8.6倍、平年同月比14倍)、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは小川港、伊東港、静浦港、沼津港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.5トンで、カタクチイワシは水揚げがなかった。

\*平年：過去5か年(令和元年～令和5年)の平均値

**[調査船駿河丸の動向]**

8月 1日	～	8月 2日	サクラエビ卵幼生調査	(2日間)
8月 5日	～	8月 7日	地先定線観測調査	(3日間)
8月 9日			ドックへ回航	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

